

令和4年度

一般財団法人佐渡文化財団

事業報告書

令和5年3月31日

～ 目 次 ～

I	事業総括	3
II	総務事項	
1.	組織	4
2.	会議の開催	5
III	事業概要	
1	伝統芸能の継承者育成及びPR	6
2	伝統芸能の常設披露による文化団体活性化	7
3	キャリア教育支援及び文化活動担い手育成	8
4	その他	9
IV	収支実績	10
■	収支詳細資料	
	賃借対照表、正味財産増減計算書	12～15
	令和4年度一般財団法人佐渡文化財団収支決算書	16
	補助金実績見込額算出表	17
	経費明細（支出内訳）書 事業費	18
	経費明細（支出内訳）書 運営費	19
	月別執行状況表	20
■	佐渡文化財団事業評価一覧	21～25
■	事業詳細資料	
II	会議録	II-1-46
1	伝統芸能の継承者育成及びPR 関連	III-1-1～8
2	伝統芸能の常設披露による文化団体活性化 関連	III-2-9～12
3	キャリア教育支援及び文化活動担い手育成 関連	III-3-13～19
4	その他 関連	III-4-21～45
5	総務 関連	II-5-48～49
■	令和4年度佐渡文化財団、事業日程	

## I 事業総括

令和4年度は、前年に就任した笹本理事長を中心に重点事業を絞り込み身の丈にあった事業計画・予算に従って事業を展開した。

財団設立から就任した評議員と監事の任期が満了となるため、定時理事会にて3名の新たな評議員と2名の新たな監事が就任した。一方で、常勤役員の選任に至らず年度内を通して候補者等の交渉を続けております。

事業では、昨年開催した人形芝居の公演を機に数十年前にまで開催していた佐渡人形芝居保存会の定期公演の復活にあたり当財団も支援をして7月の上期と11月の下期の2回の公演が実施されました。また、コロナ禍が落ち着いてきたことから、7月に「第5回佐渡民謡の祝祭」を共催として開催、その他、後援事業として、「女たちのこころみ」や「正法寺ろうそく能」などの支援をしました。また、島外でのイベントの企画に合わせて出演団体の派遣依頼が増加し、東京都や大阪府のイベントに佐渡の芸能団体を派遣し、また財団もコーディネート料（手数料）の収益を得ました。

キャリア教育等の支援・担い手育成については、文化庁の補助を得て「佐渡人形芝居親子教室」を初めて開催し、新潟県の補助を得て「佐渡産茅活用プロジェクト」を実施しました。

また、就労支援事業の会場として、畑野小学校の教室を提供いただき、準備や後始末の効率化が図れたことと児童たちが授業の合間に工芸の現場を見る機会ができました。

自主財源の確保につきましては、昨年度開始した賛助会員制度の充実を図ったほか、従来の自主事業や物販に加え、イベントへの芸能団体派遣委託、番組制作コーディネート料、撮影・記録委託料、原稿執筆料、ふるさと納税など収益事業の幅を広げた取組により前年度の約3倍の経費を繰り越すことができました。

## II 総務事項

人事について、令和4年6月2日の定時評議員において、伊藤窯一氏、徳永健一氏、新発田靖氏の3名が再任し新たに金子博文氏、岡本美絵氏、平野公一氏が新たに就任しました。また、末武一也氏と石井裕子氏の2名が新たに監事に就任しました。

一方で、常勤役員については、年度中、候補者との交渉を続けてきましたが選任に至りませんでした。

11月から映像・記録部門の充実を図るため、臨時職員として岩崎孔一氏を採用し、芸能イベントや新穂の山車解体などの撮影記録に従事しています。また、資質

向上のため、佐渡市とJALの主催で開かれた「おもてなしリーダー研修」に職員2名が参加し認定証を得ました。

当財団が安定した運営を明らかにするアクションプランの策定について、令和4年9月12日に事業部会、令和4年9月13日に総務部会を開き検討しました。年度内の策定には至りませんでした。新年度最初の理事会にて承認される予定です。会議は、理事会3回、評議員会2回をそれぞれ開催しました。

## 1. 組織（令和5年3月31日現在）

### (1) 評議員

定数：3人以上10人以内、任期：～令和8年定時評議員会まで

役 職	氏 名	就 任	備 考
評議員	伊藤 窈一	令和4年6月2日	無名異焼 人間国宝
評議員	徳永 健一	令和4年6月2日	新潟市芸術文化振興財団理事長
評議員	新発田 靖	令和4年6月2日	佐渡市教育委員会教育長
評議員	金子 博文	令和4年6月2日	佐渡民謡活性化実行委員会委員長
評議員	岡本 美絵	令和4年6月2日	有識者（舞踊、宿泊施設経営）
評議員	平野 公一	令和4年6月2日	有識者（人形芝居・太夫）

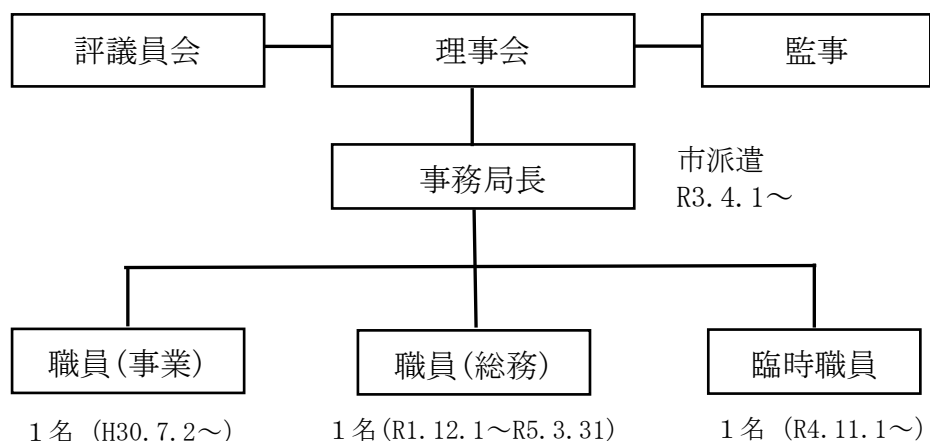
### (2) 理事・監事

理事 定数：3名以上7人以内、任期：～令和5年定時評議員会まで

監事 定数：2名以内、任期：～令和8年定時評議員会まで

役 職	氏 名	就 任	備 考
理事	笹本 芳廣	令和3年6月2日	理事長
理事	深野 まゆ子	令和3年6月2日	
理事	藪田 亨	令和3年6月2日	
理事	後藤 唯	令和3年6月2日	
理事	栗山 理恵	令和3年6月2日	
監事	末武 一也	令和4年6月2日	
監事	石井 裕子	令和4年6月2日	

### (3) 事務局



## 2. 会議の開催

### (1) 理事会 (全3回開催)

#### 第1回定時理事会

日 時	令和4年5月16日 (月)
場 所	畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
議 案	第1号議案 令和3年度の事業報告について 第2号議案 令和3年度の収支決算及び監査報告について 第3号議案 令和3年度の事業評価について 第4号議案 令和4年度予算の補正について 第5号議案 常勤役員について 第6号議案 第1回定時評議員会の日時について
報 告	①第5回佐渡民謡の祝祭について ②アース・セレブレーション2022について

#### 第2回定時理事会

日 時	令和4年10月6日 (木)
場 所	畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
決 議	第1号議案 令和5年度予算編成の方向性について 第2号議案 臨時職員の単価の改定について
報 告	①職務執行状況の報告について ②アクションプラン策定委員会、各部会の報告 ③中学校の部活動地域移行について

#### 第3回定時理事会

日 時	令和5年3月24日 (金)
場 所	畑野行政サービスセンター 2階 会議室

決 議	第1号議案	佐渡文化財団アクションプランについて
	第2号議案	令和5年度事業計画案及び収支予算案について
	第3号議案	一般財団法人佐渡文化財団就業規則の一部を改正する規定について
	第4号議案	一般財団法人佐渡文化財団嘱託職員等就業規則の一部を改正する規則について
報 告	①職務執行状況の報告について	

## (2) 評議員会（全2回開催）

### 第1回定時評議員会

日 時	令和4年6月2日（木）
場 所	畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
議 案	第1号議案 令和3年度の事業報告について 第2号議案 令和3年度の収支決算及び監査報告について 第3号議案 評議員、監事の選任について
報 告	①令和4年度事業計画及び予算について

### 第1回臨時評議員会

日 時	令和4年7月26日（火）
場 所	両津地区公民館 3階 会議室
基調講話	講師 佐渡博物館 館長 池田哲夫
報 告	①佐渡文化財団の経過について ②佐渡市文化振興ビジョンについて ③佐渡文化財団アクションプランについて

## III 事業概要

### 1 伝統芸能の継承者育成及びPR

#### 【事業の趣旨・実績】

昨年開催した人形芝居の公演を機に数十年前にまで開催していた佐渡人形芝居保存会の定期公演の復活にあたり同保存会の役員会で検討し、7月上旬と11月下旬の2回に分けて公演することとなり当財団が支援しました。

延期されていた「第5回佐渡民謡の祝祭」を佐渡民謡活性化実行委員会と共催として開催しました。その他、後援事業として、「女たちのこころみ」や「正法寺ろうそく能」などの支援をしました。

コロナ禍の落ち着きに伴い、島外で企画されたイベントに島内の芸能団体を派遣しました。東京の上野駅イベントや大阪府の秋鬼祭をはじめ、豊島区との文化交流事業もスタートすることができました。

コロナ禍を経て、島内の芸能が現状どうなっているかを把握するため、集落内の芸能現状実態把握調査について集落長を対象に実施しました。今後は、回答を整理し各団体へのヒアリングを随時行います。

#### 【令和4年度における主な業務実績】

##### ■第5回佐渡民謡の祝祭（共催）

日時：7月3日(日) 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 19 団体  
入場者 約 800 名

##### ■佐渡人形保存会定期公演の支援

○上期 日時：7月17日(日) 会場：マリンプラザ小木  
出演団体 3 団体（大和座、常盤座、大崎座） 入場者 45 名、  
オンライン参加 3 名

○下期 日時：11月21日(日) 会場：佐渡島開発総合センター  
出演団体 5 団体（親子人形芝居教室の子どもたち、高千中学校、  
野浦双葉座、新青座、真明座）  
入場者 100 名、オンライン参加 4 名

##### ■上野駅イベント

日時：10月13日(木)～16日(日) 会場：上野駅構内 出演団体：若波  
会、佐渡こがね会、鼓志の会、岩首余興部

##### ■豊島区文化交流

日時：11月5日(土)・6日(日) 会場：東京都豊島区イケサンパーク、朋  
有小学校ほか 出演団体：佐渡芸能団

##### ■ふるさと祭り東京 2023

日時：1月19日(木) 会場：東京ドーム 出演団体：佐渡民謡育成会

##### ■集落内の芸能現状実態把握調査 1月～3月 ※令和5年度継続

## 2 伝統芸能の常設披露による文化団体活性化

#### 【事業の趣旨・実績】

常設披露について、令和4年9月12日の事業部会で検討しました。これまでは、観光客が来島した時、どこで何を行っているのか、誰に聞いたらわからない、このようなニーズにどのように応えていくために常設披露が必要という経過で事業を進めていました。

検討の中では、過去には上記の目的を担った施設があったが、現在まで続いている課題や背景があるため、その問題をクリアにしながらか進めないと同じことを繰り返してしまうことを共通認識しました。

出演者、観客の分析を進めながら、常設披露化に向けて取り組みます。

#### 【令和4年度における主な業務実績】

##### ○事業部会における検討

- ・日 時 9月12日
- ・会 場 佐渡市役所畑野行政サービスセンター 3F 中会議室
- ・出演者 藪田理事、後藤理事、栗山理事、宇治事務局長、本間主事

### 3 キャリア教育支援及び文化活動担い手育成

#### 【事業の趣旨・実績】

キャリア教育等の支援・担い手育成については、文化庁の「伝統文化親子教室事業」の採択を得て「佐渡人形芝居親子教室」を初めて開催し、10月8日から親子が佐渡の人形芝居に触れる場を設けました。市内の小中学生と保護者を対象に文弥人形座の「常盤座」の皆さんが講師となって国の重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の人形芝居」の人形の扱い方から上演に至るまでの稽古を行いました。参加した子どもたちは、仲良く人形芝居を学び上達も早く毎週の教室を楽しみにしているようでした。稽古の成果を披露する2回の発表会においては、堂々と演じて来場者から大きな拍手が贈られていました。

新潟県文化資源活用支援事業補助金の採択を得て「佐渡産茅活用プロジェクト」を実施しました。関係者が一堂に会して意見交換を行ったワークショップや椿茅場で茅刈り講習を行いました。関係者が佐渡産の茅をどのようにしたら持続可能的に活用していけるのか考える貴重な機会となりました。

また、就労支援事業の会場として、畑野小学校の教室を提供いただき、準備や後始末の効率化が図れたことと児童たちが授業の合間に工芸の現場を見る機会ができました。

学校等への講師派遣に加え、財団職員が外部講師として総合的な学習の時間や国語の授業などで佐渡の文化や工芸について話しをする機会を昨年度に続き増やしました。

#### 【令和4年度における主な業務実績】

- 学校等への講師派遣数：9件（市内小・中・高校）学校等への講師派遣：5件（市内小・中）
- 学校等への和楽器貸出数：8件/延べ104台 その他、事業での活用、レンタルも実施

■工芸（わら細工）ワークショップ：6件

（以下、令和4年度新潟県文化資源活用支援事業補助金 採択事業）

■佐渡産茅活用プロジェクト第1回ワークショップ

日時：10月4日(火) 会場：伝統文化と環境福祉の専門学校 参加者：39名

■茅刈り講習ワークショップ

日時：11月26日(土) 会場：椿茅場 参加者：10名

※小倉茅場での講習は、荒天のため中止

■わらじ作りワークショップ

日時：3月11日(土) 会場：八幡集落センター 参加者：16名

## 4 その他

### 【事業の趣旨・実績】

佐渡文化財団の認知度向上のため、ホームページをはじめ、SNSの更新回数を増やしました。その結果、ページビュー、フォロワー数、リーチ数いずれも増加しました。

昨年度から開始した賛助会員制により寄付金が増加し、今後の会員の拡大に努めます。

自主財源の確保につきましては、昨年度開始した賛助会員制度の充実を図ったほか、従来の自主事業や物販に加え、イベントへの芸能団体派遣委託、番組制作コーディネート料、撮影・記録委託料、原稿執筆料、ふるさと納税など収益事業の幅を広げた取組により前年度の約3倍の経費を繰り越すことができました。

### 【令和4年度における主な業務実績】

#### ○情報発信実績

- ・Facebook 投稿 毎日2件程度更新（フォロワー数980人）
- ・Instagram 投稿 月2件（リーチ数前年比65%増）
- ・YouTube 投稿 6件
- ・Twitter 投稿 月10件程度更新
- ・ニュースレター発行 10回発行

#### ○賛助会員制の充実

- ・入会件数21件（個人16、団体5）令和4年度新規
- ・申込口数49口（個人42、団体7）令和4年度新規
- ・寄付金額119,000円（個人84,000円、団体35,000円）

#### ■延べ賛助会員数

入会件数30件（個人23、団体7）、60口（個人51、団体9）、  
寄付額147,000円

○就労準備支援事業 支援プログラム

- ・期間 9月26日(月)～12月5日(月)までの期間で全20回
- ・会場 畑野小学校地域連携室
- ・参加者 8名

## V 収支実績

### 【収支・決算】

令和4年度は総予算21,919千円でスタートし経常収支18,504千円、経常費用16,984千円で1,519千円を次年度に繰り越します。

経常収支は委託料の増加をはじめ、国や県の補助金を活用し財源の確保に努めましたが総予算額に対して約3,414千円の収益がありませんでした。

経常費用は、受託業務の増加に伴い事業費が増加、選任できなかった常勤役員の報酬がなかったことなど総予算額に対して支出を約4,934千円に抑えました。

○基本財産 3,000,000円

○令和4年度収支決算

単位：円

	R4 予算	R4 決算	差異
経常収益 (a)	21,919,241	18,504,267	△3,414,974
経常費用 (b)	21,919,241	16,984,304	△4,934,937
経常費用内訳 事業費	4,850,000	5,202,981	352,981
経常費用内訳 管理費	16,456,000	11,781,323	△4,674,677
経常費用内訳 予備費	613,241	0	△613,241
収益(a)－費用(b)	0	1,519,963	